

令和3年5月7日

保護者各位

群馬県立大泉高等学校
校長 立見 康明

新型コロナウイルス感染症に係る「警戒度引き上げ」に関する対応について

保護者の皆様におかれましては日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、ご承知のとおり、全国における新型コロナウイルス感染症の拡大に連動するかたちで、5月4日より群馬県の警戒度は「4」に引き上げられました。警戒度「4」は昨年度行われた、全国一斉の休校期間並みの注意が必要となる警戒度となります。現在のところ、本県の県立学校ではご家庭のご理解とご協力により、学校内の感染拡大を概ね抑制できていることから通常登校を続けております。

本校でもかねてより感染予防等には取り組んで参りましたが、より感染力の強い変異株の流行も指摘されている状況でもあり、さらなる対応の強化に努めたいと考えております。つきましては下記の点に関しまして、さらなるご理解とご協力をお願いいたします。

記

1 「新しい生活様式」の徹底について

引き続き、マスクの着用やうがい・手洗いなど感染予防に努めるとともに、本人及び同居されるご家族に、37度以上の発熱や咳などの風邪症状がある場合、欠席扱いにはいたしませんので、学校に連絡の上、ご自宅での体調管理に専念していただくよう、お願いします。

また、風邪症状などの体調不良が見られた場合は生徒をご連絡の上、帰宅するよう指導いたします。自宅でも静養に努めるとともに、かかりつけ医等に健康相談の依頼をするなどのご対応をお願いします。なお、健康観察に関する記録の継続についてもご協力ください。

2 感染リスクの高い地域・施設への外出について

群馬県では、大型連休期間中、東京・大阪・京都・兵庫の「緊急事態宣言」が発令された一都三府県、上記を含む「まん延防止等重点措置」対象の一都府十二府県との往来は、延期または自粛、上記以外の人口10万人あたり10人を超えている11道県への移動・往来についても、感染予防の観点から慎重に検討するよう要請をしています。

また、最近の特徴として、バーベキューを介した感染や、食事の際にマスクをしない状態での長時間の会話による感染、感染予防策が不徹底なカラオケ店等での感染事例が報告されています。大型連休明けの感染拡大が指摘されている時期であることを踏まえ、平日・休日に関わらず、人混みの多い地域や施設への不要不急の外出をしないよう、ご指導ください。

3 放課後の諸活動について

部活動については活動を校内に限定し、競技の特性や活動内容に応じた感染予防策を徹底したうえで行うこととします。合同練習や練習試合、発表会などの他校との交流を伴う活動については県の内外を問わず、行わないこととします。また、部活動終了後の更衣やマスクなしでの会話、飲食が感染を誘因することが指摘されていますので、速やかに帰宅するよう、指導します。

また、不特定多数との接触の可能性の高いアルバイトについては原則として禁止となります。ただし、経済的事由などやむを得ない事情をお持ちの場合は学級担任までご相談ください。

4 学校関係者で新型コロナウイルスの感染者が発生したときの対応について（再掲）

生徒本人またはご家族が濃厚接触者やPCR検査等の受診が必要になった場合や、その結果が明らかになりましたら、速やかに学校までご連絡ください。

また、学校関係者で感染者が発生した場合の対応は、昨年度お知らせした内容と同様に、学校は保健所に連絡し、保健所への濃厚接触者の確認や学校の対応について指導助言を受け、教育委員会と協議して学校の対応を決定します。感染者の具体的な情報等についてはプライバシー保護のため、控えさせていただきますので、改めてご承知おきください。

5 一人一台端末の管理について

感染状況によっては、学校閉鎖など、学校における教育活動が中断せざるを得ないことが懸念されます。昨年度末より本校でも一人あたり一台の情報端末（chromebook）を貸与し、活用が始まりました。この端末は日常の健康観察や授業で用いるだけでなく、休校時には課題やスタディサプリなどの授業動画の配信、Google Meetなどの機能を活用したオンライン授業の端末として使用いたしますので、毎日、端末を家庭へ持ち帰るほか、端末の管理を徹底するよう、改めてご家庭でもご指導ください。